

秋田県大館市

市内公共施設（子どもの遊び場）へ設置する木育資材等
市内教育機関等を対象とした
工作ワークショップ
渋谷区へ木製ベンチ寄贈

【概要・アピールポイント】

- ①市内公共施設（子どもの遊び場）へ設置する木育資材等製作を行い、大会の“レガシー”として市民や施設利用者へ地域材利用のPRを図るとともに、市の木育推進に寄与することを目的とした。
- ②参加者は、木製キューブを組み合わせて、椅子や小さなテーブル、オブジェ等を制作。キューブを積み上げてものづくりをする過程を通じて、数学や科学、工学、アート等の多分野を横断するSTEAM教育※の実践につなげる。※S：科学、T：技術、E：工学、A：芸術、M：数学
- ③渋谷区役所を始めとする9つの区有施設に木製ベンチ81台を寄贈し渋谷区民に利用していただくことにより、都市部住民の木への親しみの醸成と都市部における木材利用促進につなげる。

■ 資材提供のきっかけ

大館市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における木材需要を契機とした秋田スギ等の地域材の利用促進・需要拡大を図ることを目的に選手村ビレッジプラザのプロジェクトに参画した。

■ 用途

- ①木育資材等（トンネルの広場、テーブルとベンチの丘、見守りのベンチ、プレイルームなど）
- ②市内教育機関等を対象とした工作ワークショップ
- ③木製ベンチ

■ 用途決定までのプロセス

- ①子育て世代より要望を受けていた“屋内の子どもの遊び場”を整備するため、ニプロハチ公ドーム・パークセンター内に「子どもの遊び場」を設置することになり、整備の一環としてビレッジプラザの材料を使用することとなったもの。
- ②地域材利用で連携している「秋田県立比内支援学校」に協力を要請し、ビレッジプラザの解体材の有効活用について検討することとなったため。
- ③都市部における木材利用促進のため、交流促進協定を結んでいる渋谷区へ木製ベンチの寄贈を提案。オリパラレガシー材ということから、渋谷区のスポーツ関連施設やパラリンピック聖火リレーの採火式会場となった施設などへ設置することとなった。

■ 提供した木材の概要

- ① ～③スギ集成材

■ 完成/使用開始時期

- ① 2022年12月
- ② 2022年12月
- ③ 2024年1月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ① ニプロハチ公ドームパークセンター内
- ② 秋田県立比内支援学校
- ③ 渋谷区役所を始めとする9つの区有施設

■ 完成まで・完成後のエピソード

- 完成までに苦労した点
 - ・ 後利用先の確保
 - ・ 返却材にボルト等が混入していたことによる加工機械の損傷
- 完成後の利用者の声
 - ・ 屋内で遊べる施設が完成し、とても喜ばれている
 - ・ 木の香りや温もりを感じることができ、木への親しみが増した
 - ・ 東京2020オリ・パラ大会のレガシーに触れ、感動した

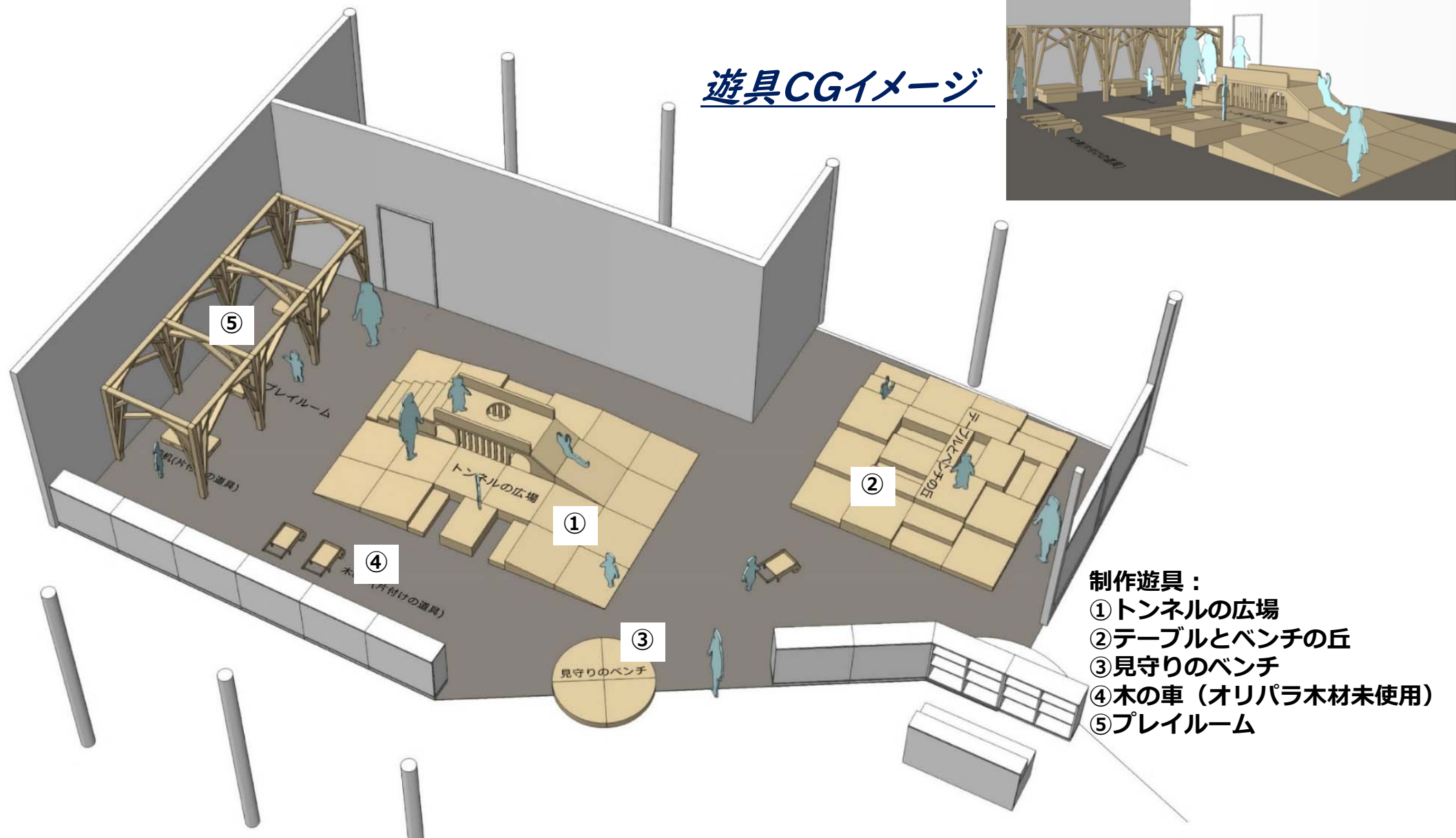
問合せ先

産業部林政課木材産業係

電話：0186-43-7076 メール：mokuzaicity.odate.lg.jp

①市内公共施設（子どもの遊び場）へ設置する木育資材等

遊具CGイメージ



①市内公共施設（子どもの遊び場）へ設置する木育資材等



①市内公共施設（子どもの遊び場）へ設置する木育資材等



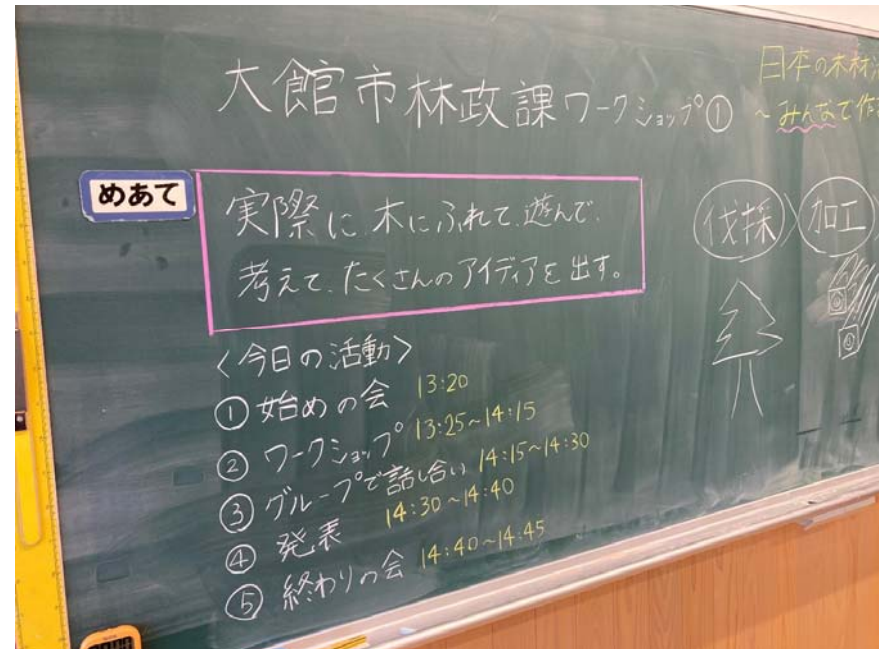
③見守りのベンチ

1回目（R4.9.26／プロジェクトに関する講座）



②市内教育機関等を対象としたワークショップ（木製キューブ加工）

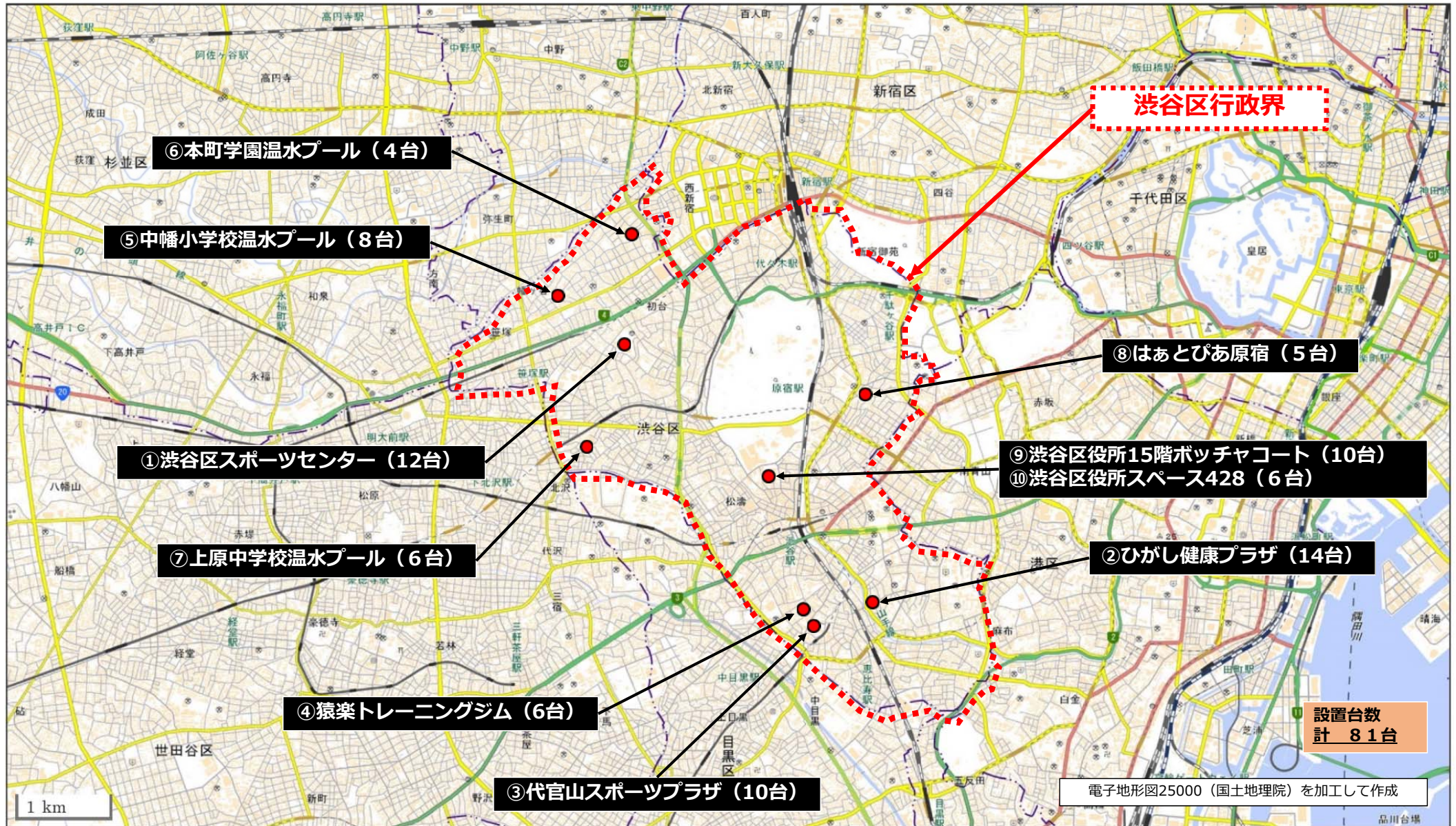
2回目（R4.10.31／後利用アイデア考案）



3 回目（R4.12.20／高等部⇒中等部への取組内容・後利用案の説明ほか）



渋谷区・木製ベンチ設置箇所位置図



渋谷区有施設への木製ベンチ設置状況



木製ベンチ(焼印入り)



木製ベンチ(焼印入り)



渋谷区役所 15階 ボッチャコート



代官山スポーツプラザ